

目次

本書の内容	i
序	ii
まえがき	viii
凡例	xii

総論

1. 処方論	3
1 鍼灸処方についての私見	3 方規の遵守
2 家伝鍼灸処方の成り立ち	4 経穴および処方の双方向の調整・治療作用
2. 鍼灸と方薬	15
1 鍼灸と方薬の共通点	3 鍼灸と方薬の臨床応用
2 鍼灸処方と中薬方剤の治療効果のプロセス	
3. 経穴の効能と配穴後の協同作用	21
1 合谷を例にした解説	2 復溜を例にした解説
4. 家伝補瀉法の変遷および臨床応用	27
1 家伝補瀉法の変遷	2 臨床応用
5. 処方の主治範囲の一般的法則	34
1 処方類型の区分	3 処方箋に従い、証にもとづき処方を選択する
2 処方名からその効能・主治を認識する	
6. 医話	38

各論

1. 補益類		43	
1 益氣補中方	43	7 養心方	153
2 益氣補腎方	67	8 養榮方	162
3 補益脾胃方	93	9 歸脾方	173
4 補脾胃方	109	10 都氣方	188
5 養臟方	120	11 健脾滲濕方	191
6 八珍方	126		
2. 溫陽類		208	
1 右歸方	208	4 回陽益氣方	250
2 腎氣方	223	5 四逆方	262
3 溫補脾腎方	239		
3. 清熱類		279	
1 玉女方	279	6 八正方	336
2 導赤方	291	7 濕熱方	349
3 清胃方	298	8 清燥救肺方	365
4 清肝胆方	307	9 清頭腦方	375
5 清胆瀉肝方	322		
4. 理氣血類		385	
1 行氣活血方	385	4 少腹逐瘀方	420
2 補陽還五方	399	5 消痞塊方	433
3 生化方	415		
5. 去風類		444	
1 風濕熱方	444	4 平肝熄風方	481
2 風寒濕方	456	5 醒腦熄風方	493
3 風疹方	469		

6. 去痰類		513
1	痰湿方	513
2	清気化痰方	526
3	寒哮方	535
7. 安神類		546
1	滋陰清火方	546
2	清心滋陰血方	562
3	清心肝方	570
8. 調胃腸類		583
1	和胃暢中方	583
2	和胃降逆方	595
3	消積導滯方	608
4	温中和胃方	614
5	胃腸承気方	627
9. その他		641
1	開竅醒脳方	641
2	痛瀉要方	649
3	暖肝方	654

附録

1. 誤治症例の分析		663
1	基礎知識の不足	
2	検査・問診の不足	
3	弁証の誤り	
4	治則の矛盾・処方または補瀉の不当	
5	回避が難しい誤診・誤治	
2. 医話		731
1	祖父・李心田の医話	
2	父・李世珍の医話	

参考文献	784
鍼灸処方の一覧表	785
索引	788
監訳者あとがき	794